

環境推進市民会議での検討事項（グループ討議 発表内容）

放置竹林の検討 ◎白川委員、橋本委員、上田委員、平林委員、福井委員

里山保全の検討 ◎小山委員、田中会長、岡委員、松崎委員

SDGs の検討 ◎岩井委員、根本委員

※ ◎印は班長

平成29年度 第8回 印西市環境推進市民会議

1. 「放置竹林の検討」

竹林の問題点を再検討したい。

また、耕作放棄地の問題についても検討したい。

地権者と共有できる良い案を考えたい。

現在活動を開始している印西市内の団体と協力して活動を検討している。

2. 「里山保全の検討」

里山と生き物を守ることを目的としたい。

里山保全活動に参加する楽しみを感じられる仕組みづくりを構築したい。

農家の人とコミュニケーションを取り、協力を得たい。

まずはクリーンデイを通して活動を広げたい。

3. 「SDGs の検討」

収集した資料の確認をした。

平成29年度 第9回 印西市環境推進市民会議

1. 「放置竹林の検討」

耕作放棄地についても含めるべきか検討したが、放置竹林のみを検討事項にすることとした。

所有者がお金を掛けたくないという意見がある。

竹の買い取り制度を研究し、付加価値を付ける必要がある。熊本の南関町にあるバンブーフロンティアという会社では竹を材料とした製品を販売し、事業化に成功している。

3月17日に開催される里地里山ネットワークの総会に参加する予定。

竹を材料として利用できる事業体を探したい。

2. 「里山保全の検討」

草刈りについて地元と協力して活動できるシステムを構築したい。無償だと人が集まらないので、日当制度の導入も検討したいが、これについては行政の協力がないと実現できない。草刈りを通して、地元の方とコミュニケーションをとりたい。クリーンデイで草刈りも一緒にやりたい。

3. 「SDG s の検討」

SDG s について広く市民に伝えることを目的に、まずは市民会議メンバーに SDG s を理解していただく。そのために、説明用のパワーポイントや発表資料の作成をする。SDG s の内容は多岐にわたるが環境に関わる項目についてまとめる。来年の市民アカデミーでの発表を目指す。

平成 29 年度 第 10 回 印西市環境推進市民会議

1. 「放置竹林の検討」

市の補助金について新設要望したい。
竹を使用したイベント（竜伝説など）の開催を検討。
現在活動している団体とのタイアップを検討。

2. 「里山保全の検討」

自然探訪の講座を開催し、その中でゴミ拾いも実施したい。
クリーン印西推進デーの一環として活動する。
他市の活動についても研究する。

3. 「SDG s の検討」

SDG s を印西市にどう反映させるかを検討。
環境白書にも反映したい。

平成 30 年度 第 2 回 印西市環境推進市民会議

1. 「放置竹林の検討」

「バイオマス発電の研究」「里地里山ネットワークとの活動」「竹酢などの研究」の 3 つの柱を軸に検討を進める。

2. 「里山保全の検討」

補助制度を調べる。
里山整備活動の検討。

3. 「SDG s の検討」

東京オリンピックを SDG s 五輪にしようと国は掲げている。
印西市は取り組みに消極的だができることを検討したい。
来月は検討内容をまとめたい。

平成 30 年度 第 3 回 印西市環境推進市民会議

1. 「放置竹林の検討」

竹を使ったバイオマス発電の検討については、事業化するだけの竹林が市内にないため、事業化は難しい。

各自治体での取り組みの研究については、竹林整備に補助金を出している自治

体があり、特色があるものとして兵庫県猪名川町では、シルバー人材センターを活用し整備した場合は費用の3分の2を助成するというものがあった。

また、取り組み案としては竹林オーナーを募り竹製品で還元する。竹を報酬として、労働力を提供していただくという意見があった。

竹の有効活用としては食用の竹パウダー、竹炭を餌にまぜた養鶏などがあった。

2. 「里山保全の検討」

活動方法としては市との協働事業が有効である。

里山の草刈り、伐採などの整備をしないことで生き物が減っている。

里山整備に活用できる補助金を調べてもらったが、良いものが見つからなかった。

3. 「SDGsの検討」

3年前に決議されたが、日本は取り組むのが遅く、ここにきてようやく取り組み方針を示しており、東京五輪についてはSDGs五輪にしようと掲げている。SDGsは17の目標と169のターゲットを掲げているが、環境推進市民会議の検討では環境に係わる約30のターゲットに絞り検討したい。例えば食品ロスの問題については、給食の食べ残しを減らす方法などを検討したい。また、再生可能エネルギーの普及については、クリーンセンター移転後の施設をバイオマス発電施設として改築し、今おこなっている熱供給事業やプール事業なども継続して利用できるよう市に提案したい。研究の成果については来年の市民アカデミーで発表したいと考えている。

平成30年度 第9回 印西市環境推進市民会議

1. 「放置竹林の検討」

もともと、放置竹林においてシラサギの糞害が発生している地区があったことが検討事項として提案をしたきっかけだった。

放置竹林の整備はイノシシ対策や里山景観の保全にも繋がる。

整備方法や竹材利用について検討してきた。

補助金の活用を提案したい。

シルバー人材センターの活用も検討したが、危険が伴う作業には不向きであるため検討事項から除外した。

ハウス農家の燃料として竹材利用を提案したい。

ペレットに加工し、燃料として使用する。事業化に成功した例もある。

市が所有している竹林に伐採した竹が放置されている。

市 3月中に竹の処分を予定している。

2. 「里山保全の検討」

自然探訪のホタル観察を拡大し、夜のホタル観察だけではなく、昼間の生息

環境を見てもらい、人の手により守らなければホタルが生息できないことを理解してもらおう。また、保全活動の一環として、昼間のごみ拾いと夜の観察会を同時開催することを提案したい。

3. 「SDG s の検討」

レポートおよび資料（案）を作成し、内容の検討をしている。

SDG s の説明として、17 の目標、日本の評価、未達成の目標、日本の対応、市の対応の順にまとめる予定。

今年の市民アカデミーでの発表を目標にしている。

SDG s は幅が広く、すべてを取り上げるのは難しいので、ポイントを絞ってまとめる予定。